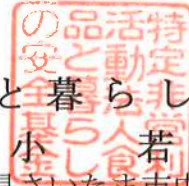


2016年9月5日

一般社団法人 日本パン工業会

会長理事 飯島延浩殿

NPO法人食品と暮らしの安全基金  
代表 小若 順一  
〒338-0003埼玉県さいたま市中央区本町東2-14-18  
Tel. 048-851-1212 FAX. 048-851-1214



## パンのミネラル含有量について

拝啓

初秋の候、残暑が厳しゅうございますが、ますますご発展のことお慶び申し上げます。

私どもは、食品と暮らしを安全にする市民団体で、突然で失礼ではございますが、お手紙させていただきます。

私どもは6年ほど前から市販食品のミネラル実測を続けて、現代食の大半はミネラル不足になっていることを突き止め、『食事にかかる新型栄養失調』などの本を出して啓蒙活動をしております。

今回はパンを実測して、同封の「食品と暮らしの安全」329号に掲載しました。

食パンのミネラルは、食品成分表の値より1~2割少ないことが判明し、総菜パンも毎食4個以上を食べないと、大半の国民が不足しているカルシウム、マグネシウム、鉄、亜鉛が、食事摂取基準の「推奨量」の1食分に届かないことが判明しました。

1食にこれだけ食べるように表示していないので、法的な問題はありません。

しかし、パンは今や日本の主食といえる食品で、パンと飲み物だけで食事を済ませる国民がたくさんいます。それなのに、総菜パンを2個食べただけでは、主要ミネラルのほとんどが、食事摂取基準で半数の人が健康を損ねるとされる「推定平均必要量」の、その半分にも満たないのです。したがってミネラルの非常に少ないパンが、国民の心身を損ねる大きな原因になっているといえます。

貴工業会は、「国民の食生活の改善」を目的の一つに掲げているので、このような事態を改善する必要があるのではないのでしょうか。

ご検討の上、改善に踏み出される意思があるかどうかについて、お知らせくださるようお願い申し上げます。

敬具

PS. 実測値の図で、1日分を掲載したナトリウムの「目標量」は間違いです。